



2026年4月30日

各 位

会 社 名 トレイダーズホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 金丸 貴行  
(東証スタンダード市場・コード 8704 )  
問合せ先 常務取締役 新妻 正幸  
(TEL 03-6736-9850 (代表))

### 配当方針の変更に関するお知らせ 連結純資産配当率 (DOE) 目安引き上げ (4%以上から「5%以上」へ引き上げ)

当社は、2026年4月30日開催の取締役会において、配当方針の変更 (DOE 目安の引き上げ) を決定いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 配当方針の変更について

##### (1) 変更内容

変更前	変更後
グループ目標達成に向けて将来の事業展開を総合的に勘案し、経営基盤強化のために必要な内部留保にも留意しながら、 <u>連結純資産配当率 (DOE) 4%</u> を目安に年2回の安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。	グループ目標達成に向けて将来の事業展開を総合的に勘案し、経営基盤強化のために必要な内部留保にも留意しながら、 <u>連結純資産配当率 (DOE) 5%</u> を目安に年2回の安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。

##### (2) 変更理由

当社は、株主還元に対する姿勢をより明確に示すとともに、さらなる還元強化を図る観点から、連結純資産配当率 (DOE) の目安を従来の4%から5%へ引き上げることといたしました。また、株主の皆さまへの情報開示の充実を図る観点から、今回より期初時点で期末配当予想を公表することといたしました。

当社グループの主力事業であるFX事業は、業績が金融市場の影響を大きく受ける特性を有していることから、安定的かつ配当の下方硬直性の高い指標である連結純資産配当率 (DOE) を株主還元の指標として採用しております。当該方針の導入当初は、事業環境の不確実性を考慮し慎重に捉えていたことに加え、現在と比較して利益水準が相対的に低く、配当への配分を高めた場合に純資産の増加に制約が生じる状況にあったことから、目標水準を4%とするなど、一定程度保守的な水準設定としておりました。

その後、継続的な利益創出により利益水準は着実に伸長し、株主資本の増加を伴う形で財務体質の強化が進展しております。これにより、株主還元の充実と内部留保の確保を両立できる体制へと変化しております。

また、当社はこれまでDOE 4%を目安としつつも、実際の配当においては2期連続でDOE 5%以上の配当を実現しており、加えて直近の配当予想においても当該水準を維持する見込みであることから、当該水準での株主還元継続可能性について一定の実績および見通しを有しております。

これらの実績および現状の収益力を踏まえ、当社は高水準の株主還元を持続的に実現できる段階に至ったものと判断するとともに、株主の皆様への利益還元をさらに充実させるため、もう一段踏み込んだ還元強化を行うことが適切であると判断し、配当方針の変更を決定いたしました。

以上